

# 残留塩素計の選び方ガイド

残留塩素計は用途に合わせて複数の機種をご用意しています。

ここではどの測定器を選んだらいいの？という方のために選び方をご案内します！

残留塩素計は以下の順でお選びください。

1. どんな用途ですか？
2. 求める性能はどの程度ですか？
3. 試薬を選びましょう！

それでは早速1から見ていきましょう！

## 1. どんな用途ですか？

まずは以下①～④のうち、どの用途に当てはまるかをご確認ください。

①プール、お風呂、水道水、ビル管理、施設や厨房で使用する水などで、

- 水道法
- 遊泳用プールの衛生基準
- 公衆浴場のレジオネラ症防止対策
- ビル衛生管理法

などに基づいた測定を行う場合。

こういった場合、一般的には「低濃度の遊離塩素計」を使用します。

主に [HI 701](#)、[HI 96701](#) です。

また、遊離塩素ではなく全塩素で測定する場合には [HI 711](#)、[HI 96711](#) です。



②食品の消毒・殺菌やノロウイルスによる食中毒の予防対策を目的とし、

次亜塩素酸ナトリウムの濃度が10ppm～500ppmの場合。

(500ppmは次亜塩素酸ナトリウム濃度0.05%)

ハンナの測定器では「超高濃度の全塩素計」になります。

具体的には [HI 771](#)、[HI 96771](#) です。

0～10ppmまでの測定も行えますが、測定範囲が幅広いため

10ppmまでの精度誤差が大きくなりますので、①の測定には不向きです。



③0～10ppmの遊離塩素・全塩素を測定する場合には、

「高濃度の遊離・全塩素計」が適しています。具体的には [HI 96734](#) です。

①の測定器は測定範囲が0～最大5.00ppm(HI 701は2.50ppm、HI 711は3.50ppm)までのため、5～10ppmの測定は行えません。  
また②の測定器ですと0～10ppmまでは精度誤差の理由で不向きです。

④0.000～0.500ppmの非常に低濃度域の測定を行う場合には、「超低濃度の遊離・全塩素計」が適しています。  
具体的には [HI 761](#)、[HI 762](#)、[HI 96761](#)、[HI 96762](#) です。  
一般的に超低濃度域の測定器は、微量に含まれている塩素または塩素が含まれていないことをチェックするために使用されます。



## 2. 求める性能はどの程度ですか？

1で①②④に当てはまる方は、測定器の性能によって機種をお選びください。  
性能によっては2つに分けられます。

- A) 手軽で安価なチェッカーシリーズ
- B) より精度の高い測定が行えるポータブルタイプ



Aには [HI 701](#)、[HI 711](#)、[HI 771](#)、[HI 761](#)、[HI 762](#) が該当します。  
一番の特長は、

【デジタル表示の測定器でありながら1万円前後(税抜定価)】という点です！  
目視で判断する試薬キットなどを使用されている方にはオススメです！  
デジタル表示ですので、人によって読み取り値の差が生じることがありません。  
またボタン1つの簡単操作ですので、初めての方でも安心してご使用いただけます！

Bには [HI 96701](#)、[HI 96711](#)、[HI 96771](#)、[HI 96734](#)、[HI 96761](#)、[HI 96762](#) が該当します。これらの特長は、

【測定器本体の校正をお客様自身で行える】という点です！  
バリデーター(標準液セット)を使用することで測定器の検証をし、ズレが生じている場合にはその場で校正が行えます！

Aのチェッカーシリーズは標準液での検証は行えますが、ズレを正す校正機能は備えていません。  
ポータブルタイプは価格が高くなってしまいましたが、こういった性能の部分で非常に優れています！  
また、故障した場合には修理対応も行っております。



バリデーターセット

### 3. 試薬を選びましょう！

ここまでで測定器を選んだら、最後に試薬を選びます。  
試薬は機種によって専用のものご用意しており、基本的には粉末試薬で25回分、100回分、300回分という単位で販売しています。  
なお、「低濃度の遊離塩素・全塩素計」(HI 701、HI 711、HI 96701、HI 96711)には粉末試薬の他に錠剤試薬もご用意しています。  
これらは主に測定頻度(回数)によってお選びいただけます。

いかがでしょうか？

用途にあった測定器はお選びいただけましたでしょうか？

もしご不明な点などありましたら、お気軽にお問い合わせください。

ご用途にあった適切な測定器をご案内いたします。

残留塩素計の一覧ページは[こちら](#)です。

